

進めています！自己改革



私たちは、平成28年度から農家・組合員や地域の方々の豊かな暮らしを支えるため、「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の3つの目標を掲げ、具体的な目標値や行動計画を設定して、自己改革に取り組んでいます。

本年度においても、組合員・地域住民の声に基づく自己改革を実践し、農業協同組合の使命である農業所得の向上や地域農業の振興、さらには、地域に根ざした協同組合として「食」と「農」を通じた地域貢献活動に取り組んでいきます。

JAからつが取り組んでいる自己改革の一部を紹介します。



JA共済では「豊かで安心して暮らせる地域社会づくり」を使命として、保障活動とあわせて、「フェイス・トゥ・フェイスで築く地域の絆」を目標に、地域貢献活動に取り組んでいます。



自治体への 交通安全資材の提供

交通安全の啓発活動および通学時における交通事故未然防止を目的に新小学生を対象に「反射材付き傘」を寄贈しました。教育委員会を通じてJAからつ管内の小・中学校・特別支援学校に1,126本を寄贈しました。



JA共済書道・交通安全ポスターコンクール実施

共済事業の相互扶助・思いやり精神を小・中学生に伝えていく中で書写教育貢献と美術教育の高揚をはかり交通安全思想を幅広く社会に訴えることを目的に開催しました。書道半紙・条幅、交通安全ポスターの3部門でJAからつ管内の小・中学校51校から2,252点の応募がありました。



JA共済自転車 交通安全教室開催

通学や日常生活において、自転車交通事故の危険性を理解してもらうため交通事故場面をスタントマンがリアルに再現し、生徒が事故の危険性を疑似体験する内容で交通事故が1件でも無くなればという思いで開催いたしました。
(唐津市立海青中学校)